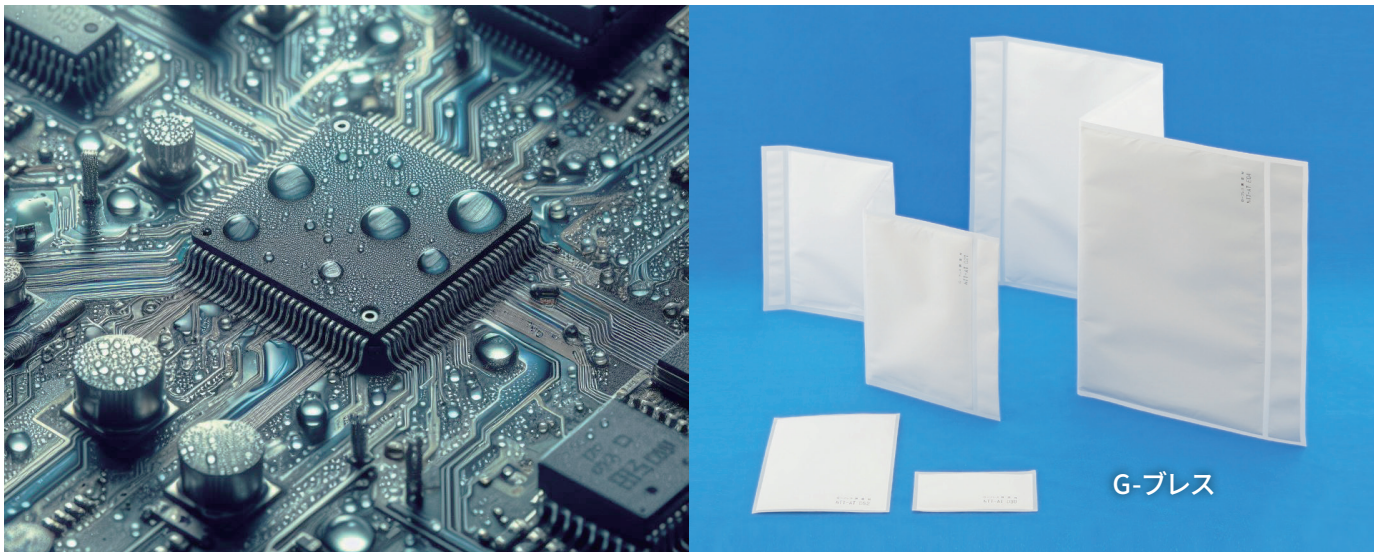




## 「防水構造なのに機器のトラブルが発生…」

## その解決のカギは、“調湿”にあることをご存知ですか？

国土交通省 新技術情報提供システム (NETIS)登録製品 NETIS登録番号:KT-180094-VE



### 各種インフラ設備や機器等の結露や湿気による故障の予防保全に最適！

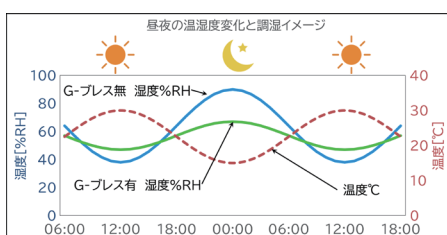
防水構造の電気設備等で起こる絶縁不良やショートによる故障トラブルは、そのほとんどが「結露」や「湿気」によるものです。密閉されているにも関わらず、水分によるトラブルが発生することに疑問を持つ人も少なくありませんが、その原因は昼夜の温度変化による湿気で、トラブルを引き起こすのです。NTT-ATの結露防止シートG-プレスは、優れた調湿能力によって故障トラブルを大幅に低減します。

#### POINT

1

驚異の調湿機能で  
温度変化による結露を抑制

温度が下がると湿度\*が上がるため、屋外に設置された防水構造の機器内部は、夜間に湿度が高くなります。G-プレスはこのような場所での湿度の変動を抑えます。



\*ここでの湿度は相対湿度を示しています。

#### POINT

2

薄くて軽く、柔軟なシート状で、  
どこでも設置OK

G-プレスは軽くて薄い柔軟なシート状のため、わずかなスペースでも設置が可能です。また、サイズは必要な除湿空間の容量に合わせて4種類ご用意しています。



#### POINT

3

長寿命&メンテナンスフリーで  
運用の手間やコストを低減

吸湿と放湿を繰り返すことで長期間の利用が可能のため、従来の除湿製品と異なり、電気代や除湿剤交換に関連したメンテナンスコストを低減できます。

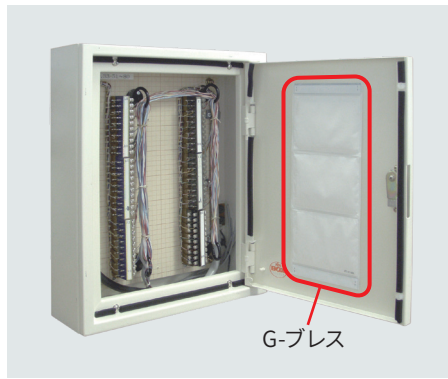


## G-ブレスの施工例

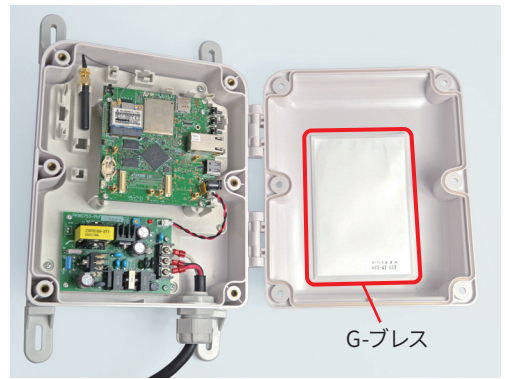
結露防止シートG-ブレスは、NTTの通信インフラ設備で長期間にわたって性能を維持したほか、屋外に設置されるさまざまな機器で採用された実績があります。工事や特別な加工も一切不要で、誰でも簡単に設置可能です。



太陽光発電設備



通信用端子盤



IoT機器の通信モジュール

### ● 導入実績

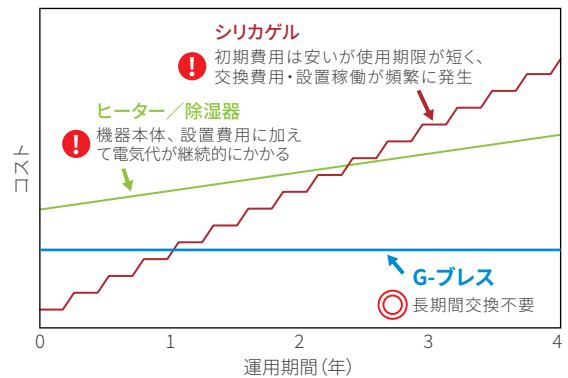
通信／電力／放送／鉄道／道路／船舶／公共施設の電気設備機器／接続箱／制御盤／配電盤／工場の製造装置／ドアホン／IoT機器／アンテナ／レーダー／監視カメラ／蓄電池／計測器など

● 公共工事での活用効果が評価され、NETIS VE評価（活用効果評価済み技術）登録されています。

## 従来の除湿剤との違い

右図は従来の除湿用電気器具（緑線：ヒーター／除湿機）および除湿剤（赤線：シリカゲル）を設置した場合の、運用期間に対するトータルコストをG-ブレスと比較したもので、交換インターバルが長いG-ブレスは、長期間になるほどコストパフォーマンスが高くなります。

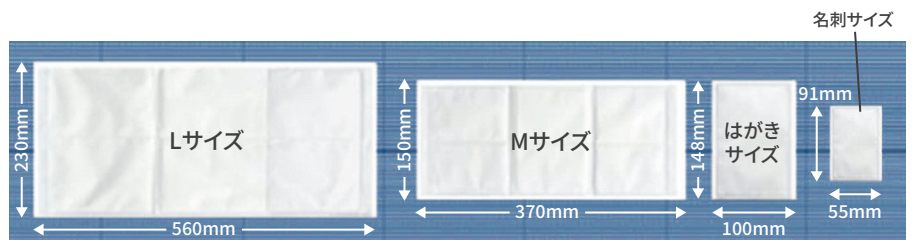
- ・電気機器の湿度や結露による故障対策に
- ・空調機が無い場所での湿度や結露による故障対策に
- ・容易に保守作業ができない場所の湿度や結露による故障対策に
- ・製品内部の湿度の上下変動を調湿し設備機器の延命対策に
- ・湿度が低い、高いを嫌う製品や楽器や美術品等の保管に
- ・G-ブレスの吸湿性回復に特別な乾燥は不要



## 種類

品名	サイズ(mm)	重量	適用容積/枚*
G-ブレスL	560×230×3	130g	400L
G-ブレスM	370×150×3	50g	150L
G-ブレスはがきサイズ	100×148×1	10g	25L
G-ブレス名刺サイズ	55×91×1	3g	7L

\*サイズ、質量、適用容積は目安です。  
設備の構造や温湿度、水蒸気量など、設置環境により異なります。



● Type II 環境ラベル「AT-ECO」対象商品 CO2 排出量削減効果 [https://www.ntt-at.co.jp/company/kanky/at-eco/eval\\_g-breathe.html](https://www.ntt-at.co.jp/company/kanky/at-eco/eval_g-breathe.html)

### 【使用上の注意】

- ・本品を施工する箱に浸水のおそれがある場合は、その防止措置を施してからご使用ください。
- ・本品は機器類の故障防止を保証するものではありません。

お問い合わせ

[https://keytech.ntt-at.com/enviro/prd\\_4010.html](https://keytech.ntt-at.com/enviro/prd_4010.html)



\*記載された社名、各製品名等は、各社の商標または登録商標です。\*本カタログ記載の内容は予告なく変更することがあります。\*カタログ記載内容 2025年9月現在